

第2学年英語科学習指導案

平成29年11月8日（水）第5校時
場 所 国際理解教室

1 単元名 Lesson 6 (Total English Book 2)

2 単元について

(1) 単元観

Lesson 3・4では、言語材料を助動詞とし、「旅行」を題材に学習した。「相手に行ってみたいと思わせる旅の計画」をスピーチにして発表した。まとまりのある内容を作るために、そこでやってみたいこと、いきたい理由を付け加えて内容を膨らませる練習をした。

Lesson 5では、言語材料として不定詞を学び、「職場体験」を題材に学習した。これをきっかけに、「将来の夢」についてスピーチを行う。今までに学んだことを十分に生かしてまとまりのある内容を作らせた。

本課での言語材料は、「動名詞」「目的語を2つとる動詞」「疑問詞 why」である。どの言語材料もこれまでの会話活動の中で使ったことがあるものである。改めて使う場面を確認し定着させたい。題材は、「3R」である。ドイツでの取り組みや、日本語の「もったいない」の発想を取り上げ自分たちにできる身近な活動について考えさせたい。

(2) 生徒観

<省略>

(3) 指導観

本課では、「動名詞」、「目的語を2つとる動詞」、「疑問詞 why」と、様々な言語材料を扱う。新出事項はであるが、どの言語材料も会話活動でよく使う表現である。「動名詞」は、1年生で自己紹介をするときに“I like listening to music.”、“I like drawing pictures.”などの表現を多くの生徒が使っていた。「疑問詞 why」は、会話活動や教科書本文の内容確認をするときに、「なぜ？」と聞きたくなる場面はたくさんある。今までさりげなく使っていた表現を改めて学び、場面に応じて正しく使えるように繰り返し練習させたい。小学校でも、本課の内容である「3R」が題材として扱われている。1年生で、「もったいない」の言葉が紹介された。今回は、「もったいない」の精神を英語で学ぶ。ワーガリーマータイさんを紹介したり書籍を紹介したりしながら、教科書の表現も含め、簡単な英語で「もったいない」の精神を説明させたい。

本課の最後にスピーチ活動を行う。前課では、『聞いている相手に自分も行ってみよう！と思わせてみよう。』を目標に自分が行きたい場所についてスピーチをした。今回は、自分の夢を中心にスピーチする。『あなたの夢を応援します！』と相手に思わせるスピーチをする。小学校の時に、将来の夢について“I want to be a doctor.”のように練習をしている。中学校では、理由をつけて、相手にわかりや

すく伝える方法を学ぶ。そのために必要な表現の中に、「動名詞」も含まれるであろうし、今までに習った「助動詞」、「不定詞」なども含まれる。未習の表現もあるかもしれないが、自分が言いたいことを、相手に伝える手段をいろいろな方面から身につけさせたい。

また、スピーチの発表練習では、話し手側、聞き手側の視点でも学ばせたい。話し手側は、相手にわかりやすく発表するために、「声の大きさ」、「アイコンタクト」、「話すスピード」、「相手を巻き込む方法」を教えたい。聞き手側は、興味をもって聞く姿勢として相づちをうったり、スピーチの後に質問したり、コメントを言ったりすることを行いたい。今回のスピーチは、Lesson 5 のときから基本のスピーチを書き始め、よりよい内容にするにはどのような表現を加えたらよいか考えながらステップを踏んで完成させたい。

スピーチ活動を継続的に行っているが、普段から話し手、聞き手両方の立場を意識して指導したい。話し手は、『聞き手にわかりやすく伝えられる方法や表現を意識すること。』『話のつながりを意識すること。』聞き手は、『話し手の内容に興味を示すこと。』『よい反応をすること。』などである。

スピーチ活動について

- 1 年生
- 『自分のことについて表現する。』
 - いろいろな動詞を使って表現する。
 - ジェスチャーなどを使い、聞く人がわかりやすいように工夫する。
 - 『自分が好きな人を紹介しよう。』
 - 話のつながりを意識して作る。
 - 写真を用意するなど、聞く人が興味をもってくれるように工夫する。
- 2 年生
- 『自分の旅の計画を立てよう。』
 - その場所の良さを伝えるための表現を考える。
 - 聞き手は、相づちを打ったり、共感できるところを聞き取ったり、さらに質問したりできるようにする。
 - 『自分の将来について語る。』
 - なぜ、そう思うのか理由を付け加えたり、具体的にどんなことをやりたいのかなど自分の思いを伝える。
 - 聞き手は、感想を述べたり、質問したり、励ましたりする。
 - 『自分の大切なものを紹介しよう。』
 - スピーチを効果的にするための方法を考える。(内容の構成・実物を見せるなど)
 - 聞き手は、内容を正しく聞き取り、感想を述べたり質問したりする。
- 3 年生
- 『自分が尊敬する人についてスピーチする。』
 - 自分が尊敬する人物についてわかりやすく紹介し、自分が影響を受けたことを相手に伝える。
 - 聞き手は、興味をもって聞き、感想や質問が言えるようにする。

また、1学期に行った職場体験学習、現在行っている進路学習の内容も関連させながら、本文の読み取りをさせ職業や将来について考えるきっかけにしたい。

授業の初めに毎時間「帯活動」を行う。音読活動、インプット活動、会話活動、書く活動を行う。その時に学習している教科書の内容を離れ、繰り返し学習する時間である。音読活動・インプット活動は会話活動につながり、それが書く活動に繋がると考える。それぞれの活動を意図的に組み合わせ、スパイラルに学び続けることが大切である。

3 指導目標

- (1) 既習事項を使い、友達と表現を参考にしながら積極的に言語活動を行う。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (2) 「将来の夢」について既習事項を使い内容を膨らませ様々な工夫をして、聞いている人が応援したくなるような文を書こうとしている。
【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】
- (3) 3Rについて、教科書の文や既習事項を交えながら、自分の言葉で説明することができる。
【外国語表現の能力】
- (4) 自分のスピーチを既習事項や新出事項を使いわかりやすく発表することができる。
【外国語表現の能力】
- (5) ドイツでの3Rの取組や、工場見学した場面の英文を読み、大切な部分を読み取ることができる。
【外国語理解の能力】
- (6) 動名詞・目的語を2つとる動詞・疑問詞 why の文の構造を理解し正しく使うことができる。
【言語や文化についての知識・理解】
- (7) ドイツでの3Rの取り組みや日本の「もったいない」の文化を理解し、自分たちができることを考えることができる。
【言語や文化についての知識・理解】

4 評価の規準と学習内容

	主な学習内容と学習活動	評価規準			
		関心	表現	理解	知識
1	スピーチをよりよくする 表現を考える 動名詞の導入 be good at ---ing. ---ing is important.	音読活動 インプット・	様々な工夫をして話続けようとしている。	スピーチをよりよくする表現を用いてまとまりのある文章を書くことができる。	動名詞の文の構造を理解する。
2	動名詞の練習 スピーチをよりよくする方法を考える。		様々な工夫をして話続けようとしている。		動名詞を使う場面を身に付けている。不定詞の名詞的用法との違いが理解できる。

3	スピーチをよりよくする方法を考える。学びあう。 【本時】	会話活動・書く活動	既習事項や動名詞を用いてよりよいスピーチを作ることができる。	スピーチをよりよくする表現や内容を考える。相手の話を聞いて、相づちを打ったり質問したりすることができる。		
4	疑問詞 why の疑問文とその答え方		積極的に言語活動に取り組んでいる。			疑問詞 why の文の構造を理解している。疑問詞 why で聞かれた時の答え方を理解している。
5	スピーチをよりよくする表現を考える。学びあう。		様々な工夫をして話続けようとしている。	スピーチをよりよくする表現や内容・方法を考える。		
6	L6-A 音読して内容を理解する。		様々な工夫をして話続けようとしている。	正しく音読することができる。	大事な部分を読み取ることができる。内容の質問に答えることができる。	日常生活の中で「もったいない」の考え方を理解している。
7	L6-B 目的語を2つとる動詞の文の構造を理解する。		積極的に言語活動に取り組んでいる。			目的語を2つとる文の構造を理解している。
8	L6-B 音読して内容を理解する。		様々な工夫をして話続けようとしている。	正しく音読することができる。	大事な部分を読み取ることができる。内容の質問に答えることができる。	3 R の背景にある文化を理解している。
9	L6-AB Picture Telling する。		既習事項を使いながら自分の考えを話している。	場面や状況にふさわしい表現を用いて話することができる。		

1 0	L6-C 音読して内容を理解する。		様々な工夫をして話続けようとしている。	正しく音読することができる。	大事な部分を読み取ることができる。内容の質問に答えることができる。	
1 1	L6 全体を Picture Telling する。		既習事項を使いながら自分の考えを話している。	場面や状況にふさわしい表現を用いて話すことができる。		
1 2	L6 まとめ				書き手の意図を読み取ることができる。	新出の言語材料について正しい語順や語法を用いて、文の構造を理解している。環境問題について自分たちができることを考える。
1 3	スピーチ練習		聞き手が理解しやすいように書いたり、書き直したりしている。	聞き手を意識して話すことができる。スピーチを聞いて、相づちを打ったり質問したりすることができる。		
1 4	スピーチ発表		相づちを打ったり、質問したりするなど、相手の話に関心を持って聞いている。	聞き手を意識して話すことができる。	話し手の将来の夢を理解することができる。	

5 本時の学習指導

(1) 本時の目標

- ① よりよいスピーチにするために、積極的に既習事項や新出事項などさまざまな工夫をしてスピーチを作ろうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

- ② 与えられた課題について、聞き手を意識して自分自身のことを表現したり、相手からの質問に適切に応答することができる。 【外国語の表現の能力】

- ③ 与えられた課題について、相手の話を聞いて、相づちをうったり、質問したりすることができる。 【外国語の表現の能力】

(2) 学校研修課題との関連

「わかる・できる授業」の展開をめざす

～学ぶ喜びを味わわせる指導過程・技術と授業評価等の研究を通じて～

「わかる授業」

① アクティブラーニング（生徒の活動）

- ・帯活動（毎時間行う音読活動、会話活動）をペアで行う。様々な生徒と話し学びあい学習がすすめられるようにする。
- ・課題を解決するために4人グループを活用する。4人のグループの中で班長を決め、班長を中心に発表したり、質問をしたり、感想を述べ合ったりしながらよいスピーチをつくる。

② 生徒の思考を深める発問

- ・自分の夢を応援してもらうには、どのような表現を入れたり、工夫したらよいか考えさせる。

③ 本時のまとめと、次時へのつなぎ（家庭学習と関連）。

- ・予習の内容を向上させる。スパイラルに学習できるように、新出単語ではないが意味が分からない単語にメモを入れること、動詞・前置詞に線を引き文の構造が分かるようにすることを繰り返し行う。
- ・4ページの家庭学習の内容を具体的に挙げ、実行させる。「できる授業」

④ 小さい単位での評価や生徒同士での相互評価の場面

- ・音読活動では、レベル別音読シートを活用する。ペアで行い、すべての生徒が試験官を経験する。また、上手に相手をリードし、全員が音読をできるようにする。
- ・会話活動では、2分間話し続ける。話題を膨らませたり、相づちを打ったりしながら英語で話しとおせる達成感を味わわせる。

(3) 本時の展開

過程(時間)	学習内容 学習活動 (○)	教師の働きかけ (□) 予想される生徒の反応 (◇)	指導上の留意点 (◎) 評価・評価方法 (☆)
つかむ (5分)	帯で行う活動 ○挨拶・歌	□今日の授業の流れを説明する。	◎挨拶から英語でやり取りをして、授業の雰囲気を作る。 準 歌詞プリント
活かす (15分)	○音読活動 ①④ペアで聞き合いをする。	□ステップアップするためのポイントを伝える。 □上手なヒントの出し方を確認する。 ・読み手は、相手に聞こえるように読む。 ・聞き手は 日本語を言う。 初めの音を言う。 単語を教える。 テンポよく進める。 ◇本時にクリアしたいステップを決めて練習する。	◎読み間違いしやすい部分を伝える。 ◎関係のよいペアがあったら紹介する。 ☆ステップアップした生徒を確認する。(挙手・英語カード) 【関心】 準 READ-READ-READ
	○会話活動 ①④ペアで2分間英語で会話を続ける。 ○SLCA と会話する。 ○書く活動 与えられたトピックについて3文以上で書く。	□2分間話を続けるために ・プラス1する。 ・質問をする。 ・相づちをうつ。 □使った相づち表現など数を記入するように指示する。 □SLCA と会話してみよう。 ・SLCA の質問に答えるだけでなく、相づちや質問もするように指示する。 □トピックを聞き、90秒間話し続ける。 <トピック> What is your hobby? What do you enjoy when you	◎参考になる話の膨らませ方を紹介する。 ☆2分間話し続けることができたか確認する。(挙手・英語カード) 【表現】 準 Bera Bera 6 相づちプリント ◎やり取りをサポートする。 ・答えに困っていたら、答え方の例を示す。 ☆2人のやり取りでよかったところを取り上げる。 【関心】 ◎相づちや質問、プラス1で答えることなどをして話を続けることを確認する。

		<p>are free?</p> <p><input type="checkbox"/> 動名詞の使い方を簡単に復習する。</p> <p>SLCA: What is your hobby? JET: My hobby is watching movies.</p> <p>SLCA: What do you enjoy when you are free? JET: I enjoy reading comic books.</p> <p>◇話した内容について、英語4文以上で書く。 My hobby is watching movies. I will watch a movie this weekend. Carina likes cooking. She makes dinner every day. She is a good cook.</p>	<p>◎机間指導で個別指導する。</p> <p>答えに詰まっている生徒には、いくつか例を挙げて答えるヒントにする。</p> <p>動名詞を使わずに答えている生徒には、動名詞を使って正しく言えるようにする。</p> <p>◎机間指導して個別指導する。自分のことと、ペアのことを書かせる。</p> <p>☆英語カードに記入。 その後回収し、添削して返却する。 【表現】</p>
<p>できる (27分)</p>	<p>◎SLCAのスピーチを聞く。</p> <p>◎個人練習</p> <p>◎①④4人グループで、発表する。</p>	<div data-bbox="427 1070 1002 1227" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>②あなたの夢を応援します！キャンペーン ～リスナーの心をギュッとつかんで 夢を応援してもらおう！！～</p> </div> <p><input type="checkbox"/> ②SLCAの発表をみて応援したいと思ったか？どんなところで思ったか尋ねる。</p> <p>◇読めない単語がないように練習する。 ↓ Look-Up Readingで練習。</p> <p><input type="checkbox"/> 4人グループで行うことを確認する。</p> <p>1. 班長から発表する。 2. 発表を聞いたら、質問や、アドバイスをする。 3. 発表の時の注意 (話し手) ・アイコンタクト</p>	<p>◎聞き手の心をつかむためのスピーチのための心得を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクト ・声の大きさ ・スピード ・わかりやすさ <p>◎机間指導し、全員が「読めない単語がない」ようにする。</p> <p>◎4人組を作り、班長を指名する。</p> <p>◎話し手への相づちは英語で行う。質問は、できれば英語で。アドバイスは、日本語でもよいことにする。</p>

	<p>○班で1人選び発表する。</p> <p>・選んだ理由も紹介する。</p>	<p>・声の大きさ。</p> <p>・話すスピード (聞き手)</p> <p>・相づちを打つ。</p> <p>・わからない単語や表現、聞き取りにくい単語があったら伝える。</p> <p>・質問があったらする。</p> <p>□時間があれば、班員のアドバイスを聞いて手直しさせる。</p> <p>◇聞いている人を意識して発表する。</p> <p>◇聞き手は、相づちを打ちながらきく。</p> <p>◇質問があれば質問をする。</p> <p>□よい表現を紹介する。</p>	<p>◎机間指導をし、グループの発表に加わり、聞き手に回る。相づちを打ったり質問したりする。</p> <p>☆生徒が質問したり、答えたりしているか観察する。 【表現】</p> <p>☆よい表現や工夫していたところ、グループの中でのよいやり取りを紹介して共有する。 【関心】</p> <p>☆今回の練習の時に気を付けることや、今日の練習でうまくできたことなど記入させる。 【関心】</p> <p>◎話し手・聞き手の確認をする。</p> <p>◎SLCAに質問してもらう。</p> <p>◎発表の内容について、聞き手に質問し、発表者の夢を共有する</p> <p>準『夢を語ろう。』スピーチ STEP 5</p>
<p>まとめる (3分)</p>	<p>○③<u>家庭学習の内容を聞く。</u></p>	<p>□家庭学習の内容を説明する。</p> <p>・本文の動詞に線を引いておくこと。</p> <p>・新出単語以外にわからない単語があったら調べてメモしておくこと。</p>	<p>◎予習の他に、やっておくとよい家庭学習の内容も紹介する。(ワークや語順トレーニング、音読など)</p>

6 備考 在籍生徒21名 男子13名 女子8名